

2021年度 FD セミナー「新しい対面授業」

人文社会学部 哲学教室 木田直人

❖発表趣旨:kibaco を使えるようになりました！

❖現状

- ・緊急事態宣言後はオンライン授業
→「新しい対面授業」をしていたのは4月のみ

❖哲学 B(後期)を例に・・・

- ・なぜ前期の授業を例にしないか
- ・内容:生命倫理を中心とした現代倫理を扱う(出生前診断、安楽死問題、再生医療等)
- ・受講者数:約400人[例年400人、昨年度456人]、全学授業のためさまざまな学部の学生が参加
- ・プリントによる授業(黒板はあまり使用しない。パワーポイントはまったく使用しない。)
- ・特殊性:知識の拡大ではなく視野の拡大(価値観の変化)に重点あり
→重視しないもの:予習・復習

Cf. 授業改善アンケート(「授業時間外学習」:ほぼ0時間52. 5%)

→重視するもの:コメント&出席

Cf. 授業改善アンケート(「倫理観、社会的責任の自覚」:75. 1%、平均32. 3%)

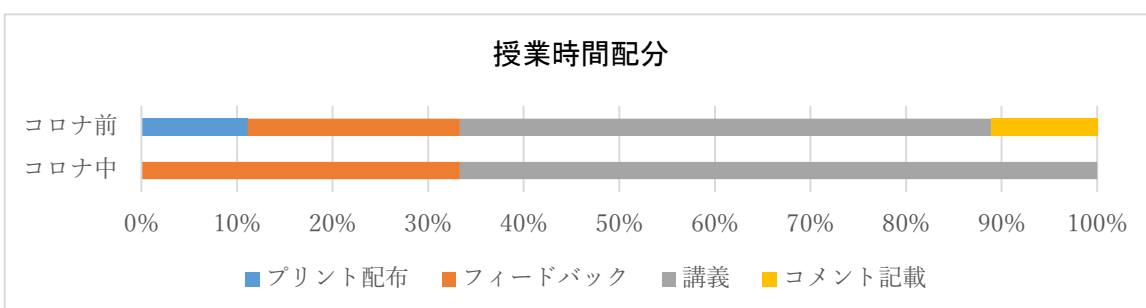
生徒からの感想や質問を共有して答えてくれるのがよかった。自分だけでは呑み込めなかった問題を、ほかの人の質問やそれに対する答えがあって理解を深められた。哲学の考え方も提供しつつ、基本現実の状況について詳しく説明を加えつつ授業を進めてくれて自分の考える力が伸びたと感じる。また、自分の考え方の癖のようなものを見つけられたと思う。

毎時間生徒の感想を紹介しながら新しい話に展開していく形式は、新たな疑問に答えたりそれに対してまた議論できたりして、とても面白かったし有意義な時間でよかった。

❖変化したもの①(授業時間外)

	コロナ前	コロナ後
コメントペーパー(※資料1・2)を読む	1. 5時間	2. 0時間
プリント印刷	1. 0時間	0時間
フィードバック・ペーパー(※資料3・4)作成	1. 0時間	0時間
計	3. 5時間	2. 0時間

❖変化したもの②(授業中)



❖「対面授業」から「新しい対面授業」へ

	コロナ前 (対面)	コロナ中 (オンライン)	コロナ後 (新しい対面授業)
配布物印刷	1時間	0時間	0時間
正味授業時間(フィードバック+講義)	70分	90分	90分
授業後の質問時間	20分	0分	20分
コメントペーパーを読む時間	1.5時間	2.0時間	2.0時間
フィードバック・ペーパー作成時間	1.0時間	30分	30分
出席確認	1.5時間	0時間	0時間

増える

変化なし

減る

❖総括(無駄を省いたイトコドリ)

- 1) 諸手間が著しく減少する
- 2) 有意義な授業時間が確保できる
- 3) 授業後、学生との直接の交流が可能になる
- 4) コメントに向かい合う学生の真剣度が上がる

【参考・ある日のコメント】

まず、自分は愛というものは、「他者の幸福そのものが自分の幸福になった」とき、はじめてそれを愛と呼ぶのだと考えています。ですから、その反対は正義ではなく、「他者の不幸そのものが自分の幸福となる」ときのことをいうのだと思います。正義というのは見かけ上、愛の対極に置かれることもあるかもしれませんが、その本質は幸福と不幸というような対立ではなく、全体をとるか個人をとるかという「競合」のたぐいだと思います。つまり、向かい合っているのではなく、どちらかをとらざるを得ないだけなんだろうと思いました。また、愛は「他者の幸福そのものを幸福とすること」であると考え、人工知能も人間と同じように人を愛することができるのではないかと考えました。人工知能に他者の幸福を最も評価するようにプログラムすれば、人工知能も人間と同じように振る舞うようになるのではないかと思います。もちろん現時点では、他者の幸福を図る人工知能は難しく、人の命令を聞く人工知能はあっても、人が本当に幸福になるように考えることのできるような(例えば、タバコを渡すように言われても健康的な被害を考えて渡さないと判断できるような)人工知能は実現がまだまだだとは思っています。人間には自由があるのか、ほかの動物には自由があるのかという話については、自分はあらゆるモノに自分の意思を通そうとする自由があると思っています。あらゆるものは、意思と、その意思を通そうとする力を持っていて、どんな存在にも自分の意思を通すためにはほかの存在と力を比べる自由は持っていると思います。それで力が及ばず意思を通せなかったとしても、それは自由の範疇にあり、もし、力を無視しなんでも意思を通せることが自由としてしまうと、それは自由ではなくわがままや空想になってしまうと思います。そのため明らかに不自由に見える人でもそれは不自由なのではなく自分が持っている力を最大限使い意思を実現しようと思っていないだけか、単に力不足であるだけで、それを不自由とするのはわがままであると考えます。ただし、万物は自己の意思を通そうとする自由を持っていますが、意思というものは理由なく生まれるものではなく、すべて根拠となる理由を持って働くので、自由ではありますが、しかし万物の行動は強制されていると考えられます。確かに自由であるのにしかし、自分がすること、他者がすることがおそらくすべて強制されている、強制された意思が自由を行使しているという現状は、多くの人には理解しがたいと思います。多くの人が感じていると思われる、自由についての違和感はおそらくここからきているのではないかと考えます。また、ガイア仮説のような考えに関して自分なりに考えたことなのですが、こういう考えは主客がはっきりしていない状態で考えてしまうから違和感があるのだと思います。この世界を主観的にとらえるのか、客観的にとらえるのか自分で決めてから考えるとこのガイア仮説のような考えもしっかりと明確に把握できると思っています。客観的に見れば、あらゆるモノは関係性の中に存在しているのは事実ですから、個というものがいないのは不思議なことではないですし、主観的に見れば社会だの生態系だのに自分が縛られているとは考えにくい。この二つを混同してしまうから、ガイア仮説に違和感が生まれているのであって、しっかり主客を分ければただ当たり前のことを言っているに過ぎないと捉えられると思います。